

画像センシング展 2024

38 回目の開催を迎える画像センシング展は、「未来をつくるセンシング技術」をテーマに国内外の画像処理機器・センシング技術をもつ出展社が一堂に会す展示会。コロナ禍以降、さまざまな現場にセンシング

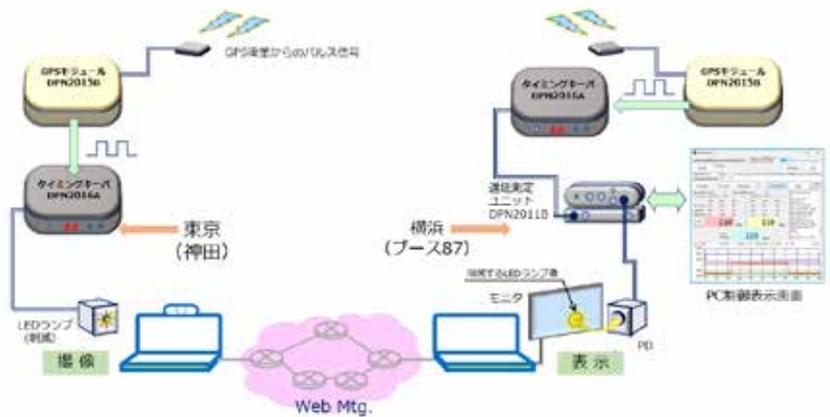
技術・イメージング技術が活用され、働き方改革も進み、自動化・省力化のニーズは高まるばかり。本展示会は今後利用シーンを拡大していく AI・ディープラーニング/クラウド・5G・6G・通信/IoT・エッジコンピュー

ティング/VR・AR・MR/自動化システム・RPAの最新技術を紹介する【デジタルソリューションズゾーン】を特設し、6月12日～14日の3日間パシフィコ横浜展示ホールで開催された。

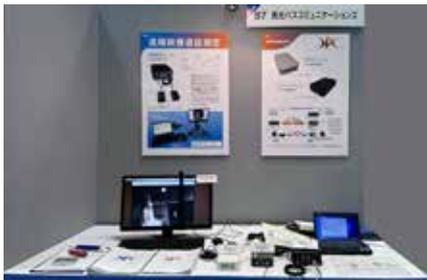
光パスコミュニケーションズ

光パスコミュニケーションズ（東京都千代田区）は、遅延測定ユニット⇒伝送方式を選ばない映像遅延時間の正確な測定が可能な展示を行った。

遅延測定ユニット DPN2011B は伝送方式のいかにかわらず、映像撮像・伝送・表示部からなる被測定システムの映像遅延時間（Glass to Glass、G2G 遅延と称する。）を正確に測定するための機器です。展示ではオプションの GPS モジュール DPN2015B、タイミングキーパ DPN2016A と組み合わせ、遠方の映像をインターネット経由でブース 87 へ伝送する場合の映像遅延測定デモを行った。



展示中の映像伝送・遅延測定



東京千代田区神田からの映像



その測定値

リーダー電子

本展示の主要テーマは、「ディスプレイを活用した解像度測定の訴求」。一般的にカメラの解像度測定にはテストチャートが必要だが、当社はディスプレイを利用することで、様々な画角のカメラに適したテストチャートをリアルタイムで作成することができるとしている。

画像品質の分析ソフトウェアである Imatest も併せて出展。Imatest は高い評価を得ており、画像品質の測定と分析に広く使用されている。ディスプレイを活用した解像度測定のデモや Imatest の紹介などを展示。

○ SFR-Fit

・ノイズ、画像処理に強い測定方式に正弦波コントラスト法を採用しているため画像のノイズの影響を受けにくく、シャープネスや圧縮などのデジタル処理した画像に対しても、繰り返し再現性に優れた測定が可能。

・魚眼、超広角カメラに対応魚眼レンズなどの画像の歪みを解析し、テストパターンの歪み補正をおこなう。テストパターンは、複数の空間周波数の異なるバーチャートを生

成し、空間周波数ごとに切り替えながらディスプレイに表示。この機能により、画像の歪みの影響を受けずに MTF を測定することができる。・SFR-Fit CMS 測定機能電子ミラーなどカメラモニタシステム解像度を高精度に測定が可能。

○ Imatest Imatest LLC は、米国・コロラド州に本社を置く、画像評価のためのソフトウェア、テストチャート、周辺機器のメーカー。2004年に設立され、約20年にわたって画像解析の業界をリードしている。同社の製品は、携帯電子機器、セキュリティ、自動車などに使用するカメラモジュールの研究、開発、生産に使用され、多数の導入実績がある。リーダー電子は Imatest 社製品の日本



での販売およびサポートを行っている。

・Imatest Master Imatest Master は、デジタル画像を評価、分析するソフトウェア。レンズ、イメージセンサー、カメラのシグナルプロセッシングからの画像を測定する。鮮明度、解像度、ノイズ、歪など多くの測定モジュールを1パッケージに納め、測定項目に合わせた多種多様なテストチャートもご用意しているため、総合的な評価が可能。